

e-ビジネス総論 -進化するネットビジネスを読み解こう！-

| | | |
|--|---|---|
| 単位数 | ナンバリングコード | |
| 2 | DBA401 | |
|  | 教員名 | 福沢 康弘 |
| | 専門 | 中小企業における経営の諸問題に関する研究と、地域イノベーション・システムに関する研究の2つを行っています。 |
| | 出身校等 | 京都大学文学部卒業、北海学園大学大学院経済学研究科博士課程修了 |
| | 現職 | 北海道情報大学 総合情報学部 教授 |
| 授業形態 | | |
| 前期印刷授業・後期印刷授業 | | |
| 授業範囲 | 試験範囲 | |
| 教科書の内容すべて | 授業範囲すべて | |
| | 【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。 | |
| 科目の概要 | | |
| 本講義では、e-ビジネスの基礎概念から最新の動向までを経営学の観点から体系的に学ぶ。インターネット技術を活用したビジネスモデルやマーケティング戦略など、e-ビジネスの基本概念はもちろん、そこからの発展内容として、現代ビジネスにおいては必須とされるデジタルトランスフォーメーション（DX）の重要性とその実現方法についても学ぶ。具体的な事例を通じて、デジタル技術が企業や社会に与える影響を理解し、実務で活用できる知識とスキルを習得することを目指す。 | | |
| 授業における学修の到達目標 | | |
| <ul style="list-style-type: none">・ e-ビジネスの主要な概念、ビジネスモデル、マーケティング戦略を理解する。・ DXの重要性を認識し、企業や組織におけるデジタル技術導入の方法やその効果を具体例から学び理解する。・ 上記の成果を論理だてた文章で表現できるようになる。 | | |
| 講義の方針・計画 | | |
| 使用する教科書の内容は15回の講義に1章ずつを割り当ててあります。教科書の内容に沿って学修（学び修めることが重要です）を進め、重要と思われるところのノートを自分で作成してください。 | | |
| 第1回：デジタル経営とビジネスモデル 第2回：パターン認識と予測 第3回：最適化 第4回：サプライチェーン・マネジメント 第5回：ブロック・チェーン 第6回：デジタル経営の戦略とプロセス 第7回：DX変革 第8回：リテールAI 第9回：IoTソリューション・ビジネス | | |

| |
|---|
| 講義の方針・計画 |
| 第10回：スマートファクトリー 第11回：ビジネス・エコシステム 第12回：スマート農業 第13回：オンライン・メンテナンス 第14回：スポーツテック 第15回：シェアリング・ビジネスとダイナミック・プライシング |
| 準備学習 |
| 印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 また、特に重要なことは教科書では対比表にしたり四角で囲んだりしていますのでそれらを重点的に学習してください。 しっかりと教科書に沿ったノートを作成し復習してください。 |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 |
| 印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。 |
| 成績評価の方法およびその基準 |
| 科目試験：100% |
| 教科書 |
| 書名：『1からのデジタル経営』 著者名：伊藤宗彦・松尾博文・富田純一編著 発行所：碩学舎 発売元：中央経済社 ISBN：9784502410918 |
| 参考書 |
| なし |
| その他 |
| なし |
| 試験期間 |
| シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026学年暦」を参照 |
| 学習プリント |
| あり |
| 教職科目 |
| 商業5の1 (必修)、商業6の4 |
| 関連受講科目 |
| なし |
| 担当教員の実務経験 |
| なし |